

令和5年度 地域活性化活動助成事業報告

光市立周防小学校

1 活動名 「フジバカマの花壇づくりを核にした地域連携教育の推進」

2 ねらい

- 本校の前庭には、花壇や池、ジャングルジムなどがある。ここで地域の方と一緒に、フジバカマや季節ごとの花を育てたり、池にすむ生き物の世話をしたりすることで、この前庭を地域の方と子どもたちとの交流の拠点としたい。
- 地域の方と一緒に作業や交流学习を行うことを通して、周防に住む方々の温かさを感じるのと同時に、周防を愛し誇りに思う心情を育む。
- 3年生は特に、チョウの生態と自然環境との関わりについて学習することを通して、周防地区の豊かな自然を守り育てようとする地域の方々の思いを知り、地域の一員として自分たちにできることを考える。

3 活動の概要

- | | |
|-----|---|
| 4月 | シニアクラブによる池の掃除
シニアクラブによるフジバカマの挿し木と育苗開始 |
| 6月 | フジバカマの苗木を3年児童がシニアクラブ会員とともに花壇に植え付け
※以後、3年生とシニアクラブで毎日散水して花壇管理をする。
3年生は理科や総合的な学習の時間等でアサギマダラの生態について調べる。 |
| 7月 | 2～4年生が地域の方々による花苗の植え付けの様子（コミュニティ・センターの花壇）を見学 |
| 8月 | シニアクラブによる2回目の池の掃除 |
| 10月 | 16日(月)にアサギマダラの飛来を初めて確認した。地域の方と共に、優雅に舞うその姿を楽しんだ。 |
| 12月 | シニアクラブによるフジバカマ花壇の整備予定 |

4 活動の内容

(1) フジバカマの植栽

秋に飛んでくるアサギマダラを学校でも観察できるよう、平成28年から、中庭の花壇にフジバカマを植栽している。

4月、3年生児童がシニアクラブの方々に教わりながら、フジバカマの挿し穂をつくった。発根するまでは、シニアクラブで大切に育ててくださった。

6月には、シニアクラブの方々に教わりながら、3年生児童がフジバカマを花壇に定植した。その日から毎朝、3年生児童が花壇に水やりをした。毎夕の水やりや土日、夏休みの花壇管理はシニアクラブの方々が行ってくださった。



【フジバカマの定植】

3年生児童は引き続き、総合的な学習の時間にフジバカマの生長の様子を観察しタブレット型PCを活用して記録していった。また、理科ではアサギマダラの生態についての調べ学習を行った。シニアクラブの会長さんをお招きし、疑問に思ったことや分からないことを尋ね、学習を深めていった。

地域の方々と一緒に世話を続けてきたフジバカマは大きく成長し、10月16日にアサギマダラの初飛来を確認した。子どもたちと地域の方々と一緒に、優雅に飛ぶアサギマダラの姿を観賞した。



【アサギマダラの観賞】

(2) コイの池の整備

前庭にある池では、コイが悠々と泳いでいる。昼休み、子どもたちはこのコイへの餌やりをととても楽しみにしている。

4月と8月、シニアクラブの方々によって、池の掃除と周囲のフェンス等の修繕を行っていただいた。池の水はいつもきれいであり、外敵に襲われることもなく、コイもすくすくと育っている。



【池の掃除】



【餌やり】

(3) 季節ごとの花壇づくり

前庭には学年ごとの花壇もあり、季節ごとに色とりどりの花を咲かせている。すぐ近くにコミュニティ・センターがあり、地域の花づくりの会の方々が素敵な花壇をつくっておられる。2～4年生の子どもたちが、実際にその様子を見学させていただき、苗植えのコツなどを分かりやすく教えていただいた。また、学校の花壇の様子も見ていただき、散水や施肥の仕方などについてのアドバイスを日常的にいただいている。



【花壇づくりの見学】

5 成果と今後の課題

地域の方々との活動がコロナ禍以前のものにはほぼ戻ってきた。おかげで本校前庭は、様々な小さな生命にふれることができる素晴らしい学習環境に整えられている。アサギマダラだけでなく、学級園の花、池のコイの世話など、シニアクラブをはじめとした、たくさんの方々の学校応援団の方々を支えられている。アサギマダラを見に来られる地域の方々との日常的なやりとりを児童も楽しんでいる。これからも地域の方々と一緒に地域連携教育を進めながら、温かな人情と豊かな自然に囲まれた「ふるさと周防」を愛し、誇りに思う児童の育成に努めてきたい。